

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動 重点期間：7・8・11月

「将来の地域の担い手となる子どもたちを地域社会全体で見守り、育むため、地域の連帯感や教育を充実させる。」
 「大人自ら姿勢を正し、子どもたちの良き手本となるよう、大人自身が社会のモラルやルールを守り、子どもたちを育てる健全な社会環境づくりを推進する。」ことを目的とした県民運動です。ご支援、ご協力をお願いいたします。

あいさつ・見守り運動
 ～子どもを家庭・地域で
 育てよう～



モラル・マナーの向上運動
 ～大人が子どもの
 手本となろう～



（中学生と高齢者の方とのふれ合い）
 （中学生ボランティア）

子どもを事故や犯罪から守る運動
 ～子どもの安全を地域
 全体で見守ろう～

県民運動 3つの柱



（携帯電話等を購入する方にフィルタリングを薦める活動推進の依頼（新庄警察署主催））

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動は、今年で5年目となります。
 運動の基本方針として、

「学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりを進めていこう。」
 「いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。」



の二つを掲げています。

山形県の平成22年～27年のいじめの認知件数は次のとおりです。平成25年から件数がずいぶん増えているようにみえますが、学校や教育委員会の教育相談やアンケートなどにより、いじめが認知されやすくなったともいえるようです。

このような実態を踏まえ、県、教育機関、警察及び青少年育成団体などが一体となって県民運動を展開することにより、子どもたちが率先してこの運動に取り組むとともに、その取り組みを大人も共有・共感し、具体的な行動につなげていこうとしています。

昨年行われた「“いじめ・非行をなくそう”フォーラム」では、門脇厚司筑波大学名誉教授から「子どもの社会力（人と人がつながり、社会をつくっていく力）を育てることが、いじめ根絶と学力向上につながる。」という提言をいただいています。

文部科学省「児童生徒の問題行動等 生徒指導上の諸問題に関する調査」

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
H22	113	137	127	22	399
H23	75	135	131	18	359
H24	178	200	192	6	576
H25	1,411	796	496	9	2,712
H26	2,363	1,202	911	62	4,538
H27	3,684	1,494	657	53	5,888

“明るいやまがた”夏の安全県民運動

夏は長期休暇、レジャー、暑さによる気のゆるみや疲労などから交通事故や水の事故等が多くなり、また、青少年の非行や身近な犯罪等も多くなる傾向にあります。この時期にあたり、これらの事故を防止するとともに、青少年の健全な育成を図るため、県民総ぐるみの運動を推進し、“安全で明るいやまがた”を創ることを目的とします。

1 実施期間 7月21日（金）～8月20日（日）

2 重点項目

- 青少年の健全育成といじめ・非行及び犯罪被害防止
 《みんなで育む人間性・社会性豊かな青少年》
- 子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
- 海・山・川での事故防止 《安全で楽しい夏休み》
- 身近な犯罪等の防止 《みんなでつくろう安全・安心の街》

